

JR西宮駅— 旧山陽道— (300m)松原神社— (300m) 津門神社—JR西宮駅→JR 住吉駅— 有馬道— 元住吉神社— (700m)東求女塚古墳— 阪神住吉駅→阪神石屋川駅— (350m) 処女塚古墳— 阪神石屋川駅→阪神西灘駅— (100m)西求女塚古墳— 阪神西灘駅→阪神岩屋駅— (150m)敏馬神社— 阪神岩屋駅(解散) —オブション元町(西国街道)



黒人が妻に見せたかった角の松原に私達が行きましょう

旧山陽道 この道は高市黒人が妻に見せた猪名野に続く 桜満開

松原神社(松原天満宮)



菅原道真が太宰府に流される道中上陸して休息した菅原道真・天神様を祀る



この先の高速道路辺りまで海だった

我妹子に猪名野は見せつ名次山角の松原いつか示さむ

高市黒人

巻3-279

津門(つと)神社



角は湊に突き出した砂嘴(さし)で、松原は白砂青松の風光明媚な海岸だった。

JR西宮駅へ向かう途中 紅まんさく



JR西宮駅→ JR 住吉駅

東求女塚古墳

茅渟壮士(ちぬおとこ)の墓 = 小竹田壮士(しのだをとこ) 前方後円墳



元住吉神社の前

有馬道と交差する西国街道(本街道)



「家に長く滞在していた新羅の尼の理願さんが亡くなり葬儀を済ませました私の涙が有馬山に雲となって雨が降ったでしようか」 有馬温泉で療養中の母石川命婦に 大伴坂上郎女(家持の叔母)が歌と反歌を送った 巻3-461



有馬へ続く

有馬道 道標

阪神石屋川駅ホームから



西国橋



求女塚東公園 東側の後円部

西国街道の本街道筋にあたる。山陽道は古代、京と太宰府を結ぶ幹線道路。鎌倉時代は衰えたが江戸時代に西国と畿内を結ぶ交通路として賑わった、所々山陽道と重なる。



阪神石屋川駅→ 処女塚古墳 (菟原処女の墓) 前方後円墳



阪神西灘駅→  
西求女塚古墳 菟原壯士の墓  
前方後円墳



古の小竹田壯士  
(しのだをとし)の  
妻問ひし  
菟原処女の  
奥つ城ぞこれ  
田辺福麻呂  
巻9-1082



三角縁神 獣鏡が7面出土

阪神岩屋駅→ 敏馬神社

境内末社 松尾神社は 舟玉神は酒造守護神で、  
灘は「灘の生一本」で有名な酒造業と江戸へ酒を  
運ぶ樽廻船業者が多かった。  
西国街道(浜街道)に面していたので、様々な  
遊戯施設が設けられ、陸からも、海からも、参拝者が  
訪れ、賑やかであった。

『敏馬浦跡』碑に  
珠藻(たまも)刈る  
敏馬をすぎて 夏草の  
野島の埼に 舟近づきぬ  
柿本人麻呂  
巻3-0250

山部赤人、藤原定家、吉田兼好  
近代まで多くの歌が詠まれた



まそ鏡  
敏馬の浦は百船の  
過ぎて行くべき  
浜ならなくに  
田辺福麻呂  
巻6-1066

妹と来し  
敏馬の崎を  
還るさに ひとりし  
見れば 涙ぐましも  
大伴旅人  
巻3-449

関伽井



港「敏馬の泊」は神社の東側にあった

阪神岩屋駅→阪神元町駅  
元町商店街



この道は  
西国街道  
だから  
大宰府に  
続きます

元町商店街入り口



三宮神社



一宮から八宮までの  
神社の三柱目  
三宮という地名の由来。  
境内に源平史跡  
「河原霊社」や  
「史蹟神戸事件発生地碑」